

平成27年度
第4回碩田中学校区新設校開校準備委員会

日時：平成28年2月16日（火）

19:00～

場所：大分市教育センター・302研修室

I 開会のことば

II 委員長あいさつ

III 議事

1 第4回開校準備委員会までの経過報告（5分）

2 各専門部会からの報告・協議について（各部会20分）

3 その他（5分）

IV アドバイザーからの助言（お一人5分）

V 閉会のことば

III 議事

1 経過報告

(1) 第4回開校準備委員会までの経過報告

2 各専門部会からの報告・協議について

(1) 報告及び協議

① 学校部会

② 学校支援部会

③ 施設部会

(2) その他関連する事項の協議

3 その他

(1) 第5回開校準備委員会の開催について

- 5月10日(火) 19:00~
大分市教育センター・研修室302
- 開催案内 4月中旬に発送予定

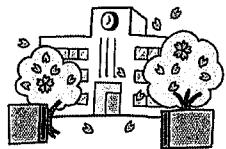
(2) 平成28年度スケジュール(案)について

第4回 碩田中学校区新設校開校準備委員会

資料集

平成27年度 開校準備委員会・専門部会のスケジュール

	開校準備委員会	専門部会		
		学校部会(研修室202)	学校支援部会(研修室302)	施設部会(研修室201)
27年度 4月	4/21 第1回開校準備委員会 (研修室302) 	部会付託事項	部会付託事項	部会付託事項
5月		5/11 専門部会①	5/11 専門部会①	5/11 専門部会①
6月		6/16 専門部会②	6/16 専門部会②	6/16 専門部会②
7月		7/28 専門部会③	7/28 専門部会③	7/28 専門部会③
8月	8/18 第2回開校準備委員会 (研修室302) 	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		8/25 専門部会(台風で中止)		8/25 専門部会(台風で中止)
9月		9/29 専門部会④	9/29 専門部会⑤	9/29 専門部会④
10月		10/20 専門部会⑤	10/20 専門部会⑥	10/20 専門部会⑤
11月	11/17 第3回開校準備委員会 (研修室202) 	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		11/24 専門部会⑥		11/24 専門部会⑥
12月		12/15 専門部会⑦	12/15 専門部会⑧	12/15 専門部会⑦
1月		1/26 専門部会⑧	1/26 専門部会⑨	1/26 専門部会⑧(荷揚町小)
2月	2/16 第4回開校準備委員会 (研修室302) 	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		2/23 専門部会⑩	2/23 専門部会⑪	2/23 専門部会⑩
3月				



1 積田中学校区新設校の校名案について

(1) 第2回開校準備委員会の協議

協議の結果、「積田」の2文字は圧倒的多数であったので、新設校の名称の中に必ず使用することを前提に、全国的に認知度が高まるように、かつ、歴史をみんなで一緒に創り上げていこうとする未来志向的な思いを共有できるような言葉を加えることも考慮しながら、教育委員会において検討してもらいたいと確認されました。

校名案	理由（思い・願いなど）
積田（小中学校） （小中一貫教育校） （学園等）	・「積田」は「大分」の古名であり、古くは景行天皇が名付けたという「積田（おおきた）国」に由来する。・「積」には、「優れている」、「充実している」という意味があり、学校名に使う漢字としてふさわしい。・これまでの歴史や伝統を残す意味で「積田」という学校名を残したい。・積田地区にあり、慣れ親しんだ名前「積田」をぜひ残してほしい。・地元に密着した名前であり、歴史的にも価値のある名前である。
積田小中学校（小中一貫教育校、学園、学院、学舎、義務教育学校）	積田なかよし小中学校
積田かなえ小中学校	積田協学館（小中学校）
新積田小中学校	積美小中学校
積和小中学校	積真学園（小中学校）
府内積心学園	府内小中学校
府内中央小中学校	府内まちなか小中学校
大分府内小中学校	大分一貫学校
大分中央小中学校（学園）	大分積豊学園
大分低中等学校	豊海小中学校
豊後小中学校	光豊小中学校
豊のみらい小中学校	積揚中吉（せきあげなかよし）小中学校
そうりん小中学校	沖の浜小中学校
北小中学校	ホルト学園（学院・学舎）
聖明小中学校	親愛小中学校
友愛小中学校	楽園小中学校
大希来小中学校	明咲（めいしょう）小中学校
功情小中学校	明伸学園
未来学園	未来翔（みらと）小中学校
希望（のぞみ）学園（院・舎）	しあわせ小中学校
七色小中学校	桜花（おうか）小中学校

(2) 開校準備委員会の意向を受け、学校部会での再協議

積田中学校区のこれまでの歴史と伝統を大切にしつつ、新たな学校として開校すること、学校への思いや願い、どんな学校にしたいのかなど、50年から100年先を思い描くことなどを確認しながら、希望、未来、しあわせ等、願いや思いに関する言葉、府内城、遊焉館、そうりん等、歴史や伝統に関する言葉、大分、府内、中央、豊後、豊海等、地名や位置に関する言葉等を加えることを総合的に協議しました。

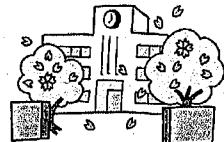
その結果、「積」には、「優れている」、「充実している」という意味があり、「積田」には、歴史や伝統、未来志向的な思いが十分に包含されていると考えられることから、「積田」が最もふさわしいと確認されました。

また、新設校は、義務教育9年間を前期（1～4年生）・中期（5～7年生）・後期（8～9年生）に分け、9年間を見通して系統的な指導を行う施設一体型の小中一貫教育校であることから、「積田」には「小中学校」ではなく、新たに以下のような名称を付け加えることを要望することが確認されました。

「積田学館」「積田学舎」「積田学院」「積田学園」

(3) 今後について

○開校準備委員会に報告（2月16日） ○大分市教育委員会において決定



2 碩田中学校区新設校の制服導入の検討について

平成29年4月開校の碩田中学校区新設校は、小学校1年生から中学校3年生までが一つの施設で教育活動を行う施設一体型の小中一貫教育校であり、児童生徒の発達の段階に応じ、前期（1年生～4年生）・中期（5年生～7年生）・後期（8年生～9年生）に分け、特色ある教育活動を実施する予定です。

学校部会では、児童生徒の豊かな学びや生活の向上を支えるうえから、保護者の皆様方のご意見を伺いながら、制服の採用の有無や時期、デザイン、移行期間等について、第1回アンケートの結果、既に制服を導入している本市の賀来小中学校や全国の小中一貫教育校での効果等を踏まえ、総合的に検討を重ねております。

これまでの協議の中で、制服導入の効果として、次のようなことが確認されております。

- 統一感、連帯感が生まれ、子どもたちの帰属意識や仲間意識等が高まり、母校を誇りに思う心情がはぐくまれること
- 地域の方からも一目でわかることで、見守り等の安全性が高まること
- 学校生活とその他の生活の区切りが付けやすく、子どもたちの規範意識や規律性が育成しやすいこと
- 制服を着用することにより、長期的には衣服に係る費用の軽減につながること

また、課題であります機能性や耐久性、保護者の経済的な負担等につきましては、制服に使う生地や、前期・中期・後期のデザイン等を工夫すること、移行期間を設けることなどで一定程度の解決が図られることから、「前期から制服を導入する」方向で検討を進めております。

今後は、第2回アンケート調査を行い、第1回アンケート調査において、前期からの導入（39%）、中期からの導入（57%）でありました導入時期について、再度、保護者の皆様方のご意見を伺いたいと考えております。

平成27年10月に実施した第1回アンケート調査の結果（抜粋）について、以下に記載しております。

■新設校に制服を導入するか、しないか。

導入する（保護者75%）	導入しない（保護者24%）
<ul style="list-style-type: none"> ○統一感があり、全校のつながりが感じられる。 ○連帯感、一体感、仲間意識、愛校心が生まれる。 ○新設校としての新しいスクールイメージが形成される。 ○身だしなみを整える意識、規律が高まる。 ○学習への意欲が高まる。 ○衣服の選択に時間がかからず安心して着られる。 ○地域の方に意識してもらい、安全性が向上する。 ○長期的に見れば経済的である。 ○高額にならなければ導入をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○値段が高く、保護者負担が大きい。 ○兄弟姉妹、買い替えなどを考えると、支出が心配。 ○制服と私服が必要なため、経済的な負担が大きい。 ○小学生は、私服で思いっきり自由に遊ばせたい。 ○重ね着等による体温調節、健康管理がしにくい。 ○洗濯やアイロンがけなど、管理が大変である。 ○転出入が生じるため、必要ない。 ○意識の醸成は、制服ではなく、教育・指導が大切。 ○自分で自由に選べる私服を希望する。
その他	
◇現状では回答できない。 ◇子どもたちのためにここで何を行うかが大切である。	

■どの期から導入するか。

前期から（保護者39%）	中期から（保護者57%）
<ul style="list-style-type: none"> ○統一感があるので、1年生から着用する。 ○学校を認識してもらえる安心感がある。 ○幼稚園から制服を着用している。 ○早く制服に慣れた方がよい。 ○入学式、卒業式にも着用できる。 ○低学年は同じ服装だと着替えも心配がない。 ○長期的に見ると経済的である。 ○同じ校舎内で制服と私服では不自然である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年齢が上がるにつれて、私服に個性が現れてくる。 風紀の乱れが目立ち、心配である。 ○現状は中学生から制服なので、中期導入希望。 ○成長期なので、買い替えの頻度を少なくしたい。 <前期に反対する意見> ▲前期には不要、活潑に動ける私服がよい。 ▲私服で汚れを気にせず、外で遊んでほしい。 ▲服装も個性。様々な子がいることを服装から感じて欲しい。 ▲男の子の服装は消耗が激しい。出費がかさむ。 ▲長期間着用するので、買い替えの回数が増える。
その他	
◇公立学校であること、転校があること、経済性等を考えると、6年生まで私服がよい。	

3. メモリアルコーナーの設置について

(1) メモリアルコーナーについて

① 目的

碁田中学校及び荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校の各学校の伝統と歴史を引き継ぐ空間を設置する。

② 設置場所（展示スペース）

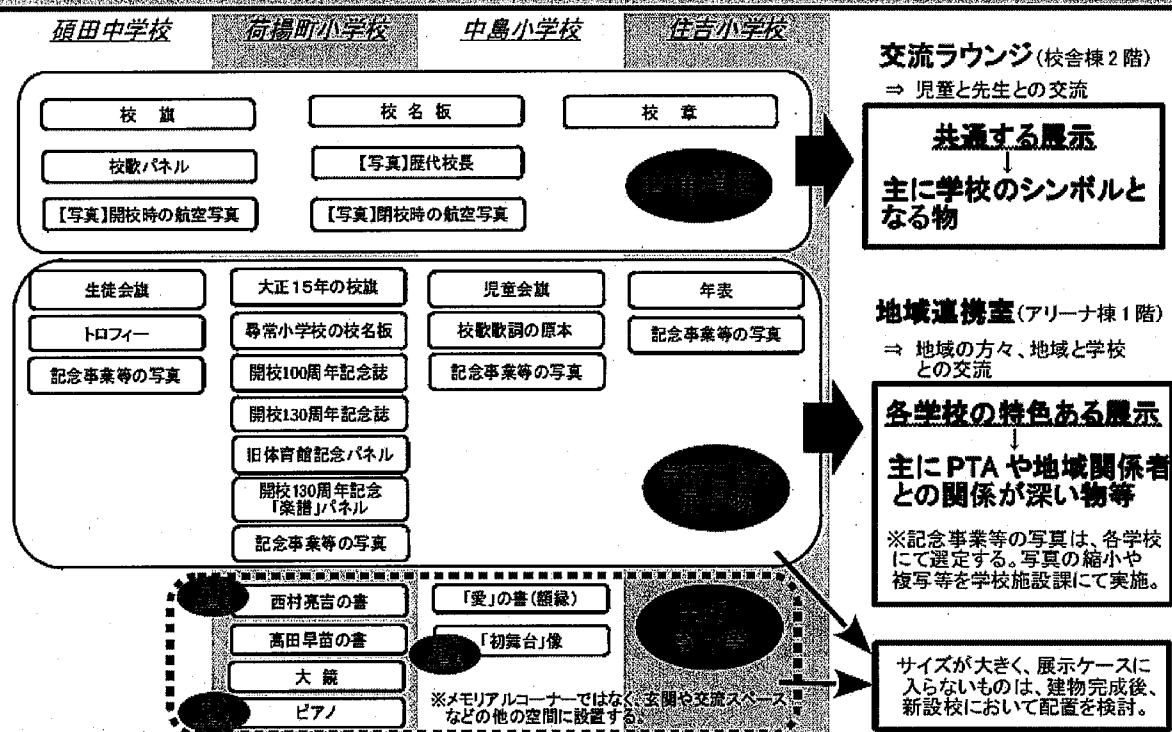
新設校におけるメモリアルコーナーは、アリーナ棟1階＜地域連携室＞と校舎棟2階＜交流ラウンジ＞の2か所に、各学校の展示ケースを設置する。

(2) 展示物と配置の検討について

検討①：どのような物を展示するか。

検討②：4校（碁田中、荷揚町小、中島小、住吉小）の共通する展示物を何にするか。

検討③：選定した展示物をどの展示スペース（地域連携室、交流ラウンジ）に配置するか。



(3) 今後の作業について

学校施設課

写真や展示物のパネルサイズの検討

- 写真の縮小化やパネル化したときのサイズを検討し、何枚程度の写真が掲載できるかを確認する。
- 校歌パネル（縮小化）のサイズを確認する。
- 写真等の掲示面積を除いた面積がどの程度あるかを各学校に提示する。

学校等

写真や展示物の選定

- 開校時の写真を1枚選定する。（記念誌から複写する場合も同様）
- 学校の特色ある写真を数枚選定する。（選定枚数は、学校施設課から別途依頼）
- 希望展示物のリストから、展示ケースに入れるものと入れないものを区別する。

学校支援部会

1. 通学路について（別紙）

各校区の要望について、関係機関で協議し対応策（回答）を検討した。

対応策（回答）を受けて、各校区で再度通学路の見直しを行った。

- ・松栄神社から城址公園のコースを追加する。
- ・中島西の暗渠上歩行者専用道路を追加する。
- ・浜町北の大在大分港線のコースに変更する。

再検討事項

- ・公共交通機関（バス）を利用した通学の許可について

今後について

- ・ハード面の対策からソフト面の対策に切り替えて協議する。
見守り体制づくり（PTA、自治会、学校、交通指導員、各種団体等）
- ・通学路に対する新たな安全対策（要望等）については「通学路の交通安全対策庁内連絡会議」と連携して検討する。
- ・防犯灯については関係機関や学校、PTA、自治会等が連携して検討し、28年度の「通学路の交通安全対策庁内連絡会議」に要望として提出する。

2. PTA組織について

4校PTA合同検討会の開催

第1回 10/15（木）、第2回 11/10（火）、第3回 12/8（火）、第4回 1/13（水）

第5回 2/15（月）

新設校PTA開設準備委員会の開設

28年5月までに各校で人選し、29年度の役員選出として総務推薦の承諾を得る。

その後活動を開始する。

4校PTA合同検討会便りの作成

これまでの協議内容を整理し、全PTA会員に配布する。

28年度のPTA総会での報告

新設校開設に向けてのPTA組織づくりのスケジュール等を知らせる。

その際の資料は、4校で統一する。

3. 児童育成クラブについて

荷揚町、中島、住吉の児童育成クラブ運営委員による合同会議を実施

- ・大分市の担当部局（課）が会議を主催し、開催する。
- ・参加者は各校区3名程度（会長、指導員代表、事務局員等を予定している）
- ・今後の方向性（新設の児童育成クラブのあり方、現クラブの今後など）について協議していく。
- ・検討委員会等の組織づくりについても協議する。
- ・協議内容は学校支援部会にも知らせ、情報共有を図る

碩田中学校区新設校の通学路の要望回答

11.26

No	学校名	場所	要望事項	回答	件数 番号
1	荷揚町小	荷揚町10番 福寿院南西角交差点	1 歩車分離式信号の設置	(大分中央警察署) 要望箇所は、道路が狭く歩道もないことから歩行者と車の距離が近く、さらにその間を自転車が通行するような時には混雑した状況になりますが、朝夕の混雑時以外は交通量が少なく、混雑時であっても信号制御が必要なほどの交通量はありません。 現状は道路幅員が狭く交通量が少ないとから、歩行者はほとんど待つことなく横断しています。 そのため、仮に信号機を設置したとしても歩行者・自転車が信号を待ちきれずに信号無視をして横断し信号が守られない状況になることが予想されます。 交差点が小さく、信号柱の建て場所もとれないため、同所に信号機は設置致しません。 なお、横断歩道、停止線、止まれ表示などの規制表示が薄くなっている部分については今後更新します。 (参考事項) 通学路として歩くならば、同交差点を通行するよりも、同所から東方に設けられている歩行者専用道路を推奨します。 同道路には車止めが設置され車が入ることができないため交通事故の可能性は極めて低く、交通上安全に通行できるようになっています。	1
2	荷揚町小	城崎町3丁目3番 安部工務店ビル	2-① 歩車分離式信号の設置	(大分中央警察署) 件数番号1と同一路線です。 朝夕の混雑時以外は交通量が少なく、混雑時であっても信号制御が必要なほどの交通量はありません。 現状は道路幅員が狭く交通量が少ないとから、歩行者はほとんど待つことなく横断しています。 そのため、仮に信号機を設置したとしても歩行者・自転車が信号を待ちきれずに信号無視をして横断し信号が守られない状況になることが予想されます。 交差点が小さく、信号柱の建て場所もとれないため、同所に信号機は設置致しません。 なお、止まれ表示や最高速度30kmの規制表示が薄くなっている部分については今後更新します。 その他に、大分市や学校等で横断旗が設置できるのであれば、子どもが安全に横断するためにかなり有効と思われます。 (参考事項) 通学路として歩くならば、同交差点を通行するよりも、同所から西方に設けられている歩行者専用道路を推奨します。 同道路には車止めが設置され車が入ることができないため交通事故の可能性は極めて低く、交通上安全に通行できるようになっています。	2
			2-② 注意喚起を促す路面標示	(市役所道路維持課) 交差点マークを設置します。	3
3	中島小	中島中央3丁目、大分港線(22号線)、碩田町	3 歩道を走る自転車の一時停止、減速を示す	(市役所道路維持課) 市道部分の対応は困難です。	4
4	中島小	大在大分港線 中島西ホンダ北側の地下道	4-① 非常時警報設備の改良(地下道)	(大分土木事務所) 要望内容は十分理解できるものであり、可能なものについて整備します。	5
			4-② 出入口の安全対策(地下道)	(大分土木事務所) 要望内容は十分理解できるものであり、可能なものについて整備します。	6
			4-③ 排水対策(地下道)	(大分土木事務所) 現地の詳細調査を行い、課題の解消に向けて検討します。	7

碩田中学校区新設校の通学路の要望回答

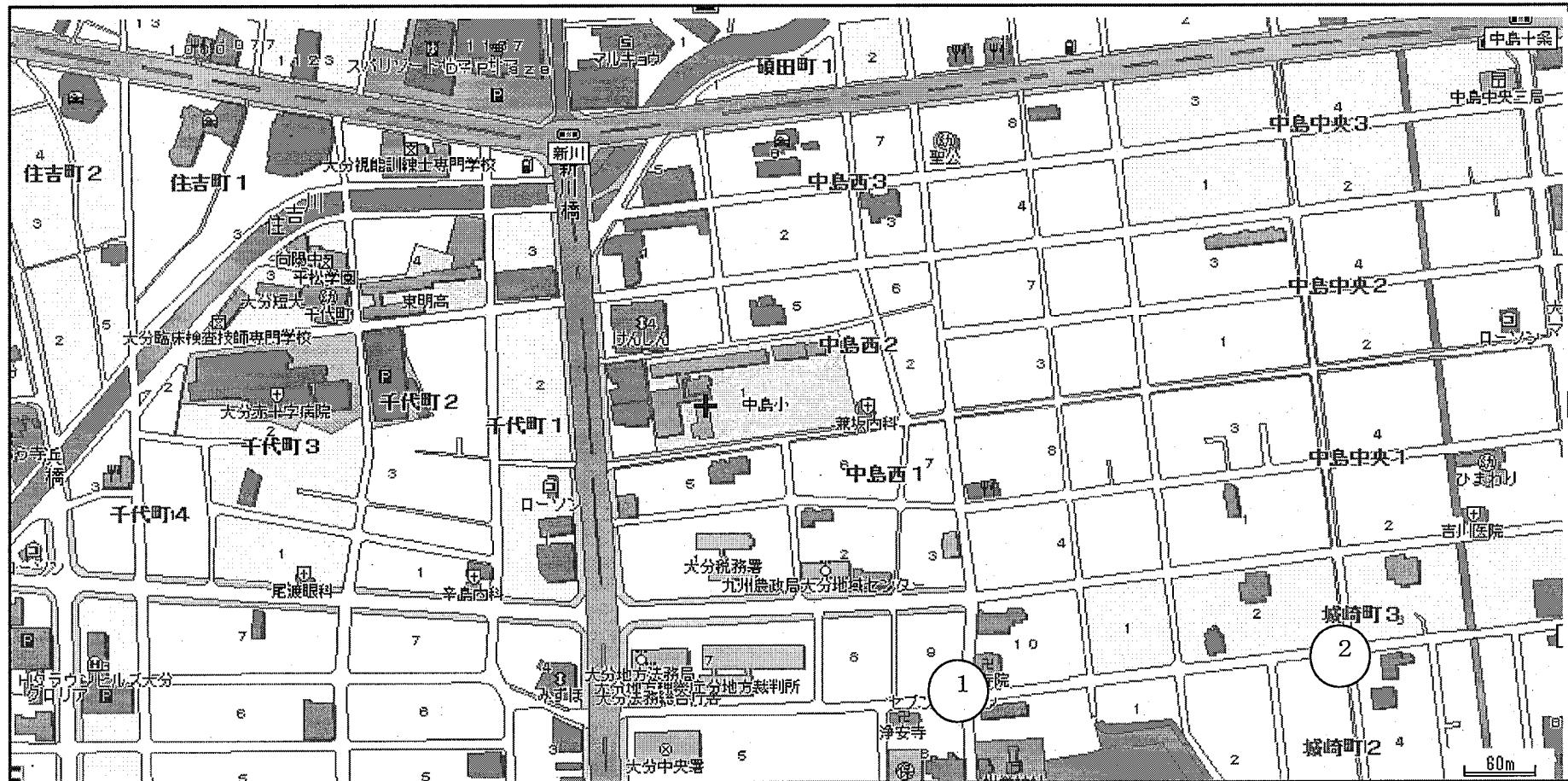
11.26

No	学校名	場所	要望事項	回答	件数 番号
5	中島小	浜町東3組と2組の境の道路	5 路側帯設置	(市役所道路維持課) 路側帯を片側(東側)に設置します。(設置位置については、関係機関と協議いたします。)	8
6	中島小	浜町北2組	6 歩行者用信号機の設置	(大分中央警察署) 要望箇所から南方約45m先が浜町交差点であり、信号交差点までの距離が非常に近いことから、同所に信号機を設置する予定はありません。 現在、要望箇所から北方において、都市計画道路春日浦豊河原線の建設工事を行っており、同道路が開通すれば要望箇所の北方交差点に信号機が設置される可能性があります。	9
7	中島小	住吉町1丁目と2丁目の境	7 横断歩道設置	(大分中央警察署) 要望箇所である浜町東交差点は、現在3本の横断歩道が設置されていますが、要望のとおり交差点南側に横断歩道1本を追加し歩行者用信号灯器を増設します。 設置時期は今年度中を予定しています。	10
8	住吉小	泉町 新島橋付近の横断歩道	8-① 信号機の設置	(大分中央警察署) 要望箇所は、交差点が小さく車道幅が4.6mと狭いため、信号機の設置はできません。 交通量も少なく信号機の必要性も認められません。 信号機以外の安全対策として、新島橋付近のガードレールの設置替えや外側線の設置等について総合的に大分市(道路建設課)が検討し、新設校西門前への横断歩道移設についても合わせて警察と協議していくことで意見が一致しました。 今後は、大分市と協議検討しながら交差点の総合的な安全対策を実施します。	11
			8-② 通学時間帯の時速制限	(大分中央警察署) 現在、要望箇所に速度規制はありませんが、大分中央警察署としては平成29年4月の新設校開校までに碩田地区の新設校周辺を「ゾーン30」規制とし、エリアで最高速度30kmの規制を実施する方向で検討を進めています。 そのエリアに要望箇所も含まれていますので、ゾーン30規制が実施されれば、通学時間帯のみならず終日最高速度30kmに速度規制されることになります。	12
9	住吉小	碩田町2丁目 曳船橋から中島橋付近	9 歩道の延長	(市役所道路建設課) 現地の状況では、防護柵や縁石による歩道設置は困難なため、区画線設置による対応を検討いたしたい。 また、新島橋付近のガードレールなどの整備も併せて検討をいたしたい。	13
10	住吉小	碩田町1丁目 碩田町一交差点先北側の車道	10 路側帯設置	(市役所道路維持課) 路側帯を片側(東側)に設置します。 (設置位置については、関係機関と協議いたします。)	14

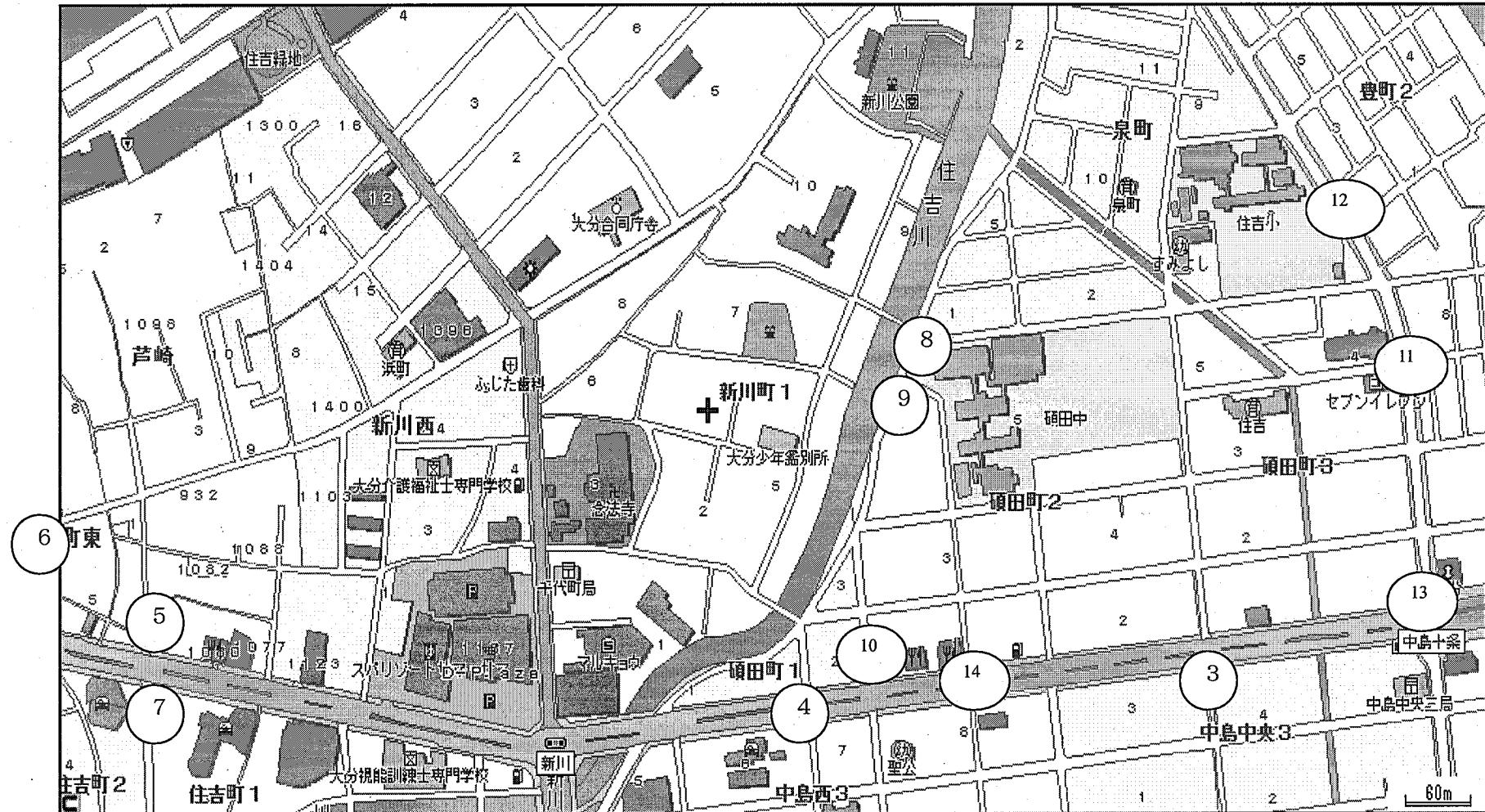
碩田中学校区新設校の通学路の要望回答 11.26

No	学校名	場所	要望事項	回答	件数 番号
11	住吉小	豊町1丁目 碩田町3丁目	11-① 歩道橋設置	(市役所道路建設課) 現状では、歩道橋設置は困難です。	15
			11-② 時間帯規制	(大分中央警察署) 豊町自治会長の独自の交通量調査によれば、午前7時から8時までの1時間に約200台の車両が5号地方面に向けて通り抜けをする道路ですが、同自治会長から、「時間帯の通行禁止規制を実施することについては沿線の会社などから同意を得ることが難しいだろう」、「住民も通行できなくなり不便になる」、「時々、警察官やパトカーが指導取締りをしてもらえば通行車両もその姿を見て気を付けるのでそれをお願いしたい」とのこと、時間帯の通行禁止規制については要望をしないという回答をいただきました。	16
			11-③ 歩車分離式信号への変更	(大分中央警察署) 要望箇所には、現在押ボタン式信号機が設置されています。歩車分離式信号機に変更するためには、定周期式にして4方向とも信号制御する必要があります。 要望交差点の東側脇道は全幅5mと狭いですが、現在は一時停止規制としているため、脇道への出入りで離合する際は、ある程度前後に避けたり融通がきく状態です。 しかし、赤信号で停車した状態になれば、大きな車両が右左折で脇道に入ってきて離合が難しい状況になった時でも、信号が青に変わるまでは停止していなければなりませんから融通がきかない状態になります。 このような状況が想定されるような道路では、信号機を設置することはできません。 よって、歩車分離式信号機を設置することもできません。 現在、押しボタンを押せばすぐに信号が変わる制御となっており、ほぼ待ち時間もなく横断できますので現状維持といたします。 なお、横断歩道、停止線、止まれ図示などの規制表示が薄くなっている部分については今後更新します。	17
12	住吉小	住吉小学校前の歩道橋	12 歩道橋の改修	(市役所道路維持課) 歩道橋一部修繕(階段等)の修繕を行います。 (修繕年度は28年度を予定)	18
13	住吉小	中島十条の地下道	13-① 非常時警報設備の設置(地下道)	(大分土木事務所) 防犯上必要な施設であることから、関係機関と協議を行い可能なものについて整備します。	19
			13-② 蛍光灯をLEDに変更(地下道)	(大分土木事務所) 整備します。	20
14	住吉小	臨界産業道路(碩田中入口付近)	14 歩道橋の新設	(大分土木事務所) 歩道橋の設置の適地がなく、また、バリアフリーの観点からも設置は困難であり、隣接する2箇所の地下道を利用していただきたい。	21

合同点検箇所 №1



合同点検箇所 №2



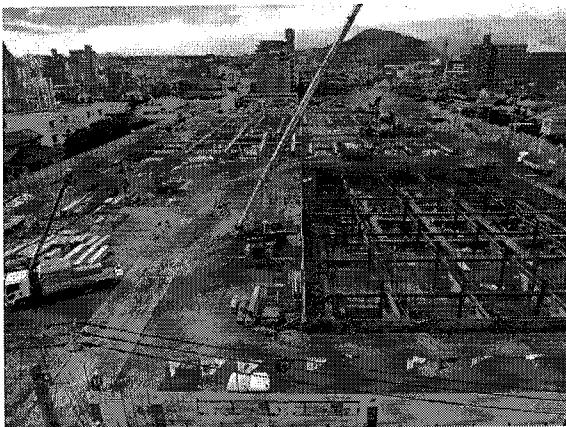
施設部会報告

工事の進捗状況について

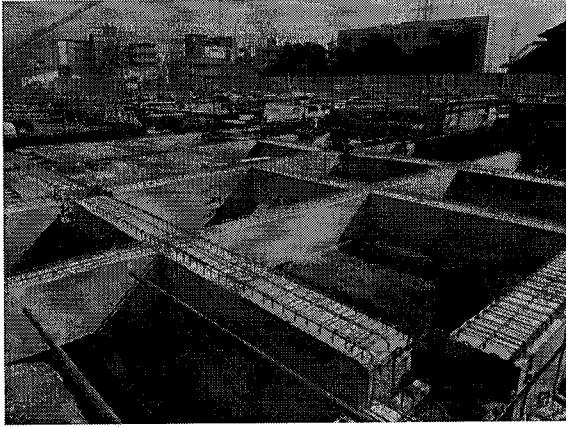
- 昨年12月までに杭工事が終了し、現在は、基礎工事が行われています。工事の進捗は、順調に進んでいます。

(基礎工事の様子)

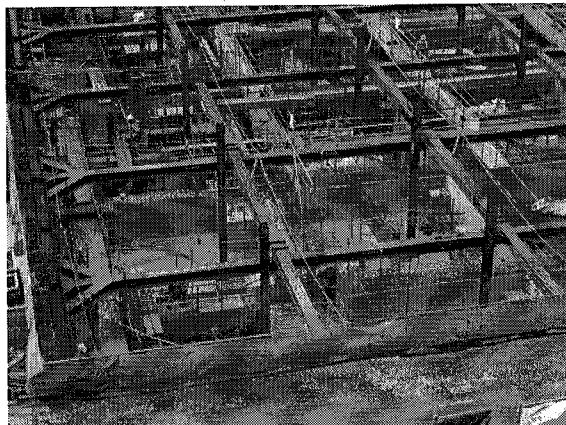
教育センター屋上から



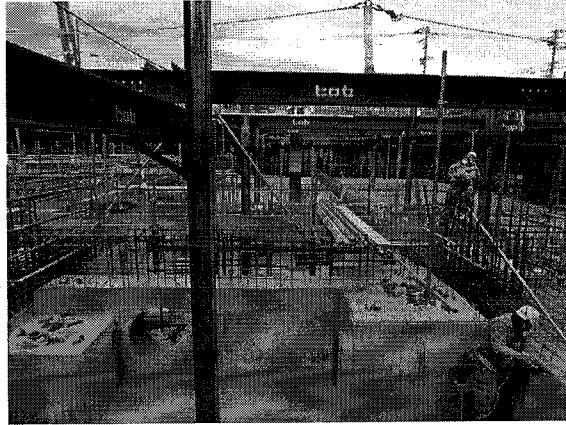
校舎棟側の様子



アリーナ側の様子（上空）



アリーナ側の様子（地下）



新設校における各部屋の愛称について（第6回）

- 新設校における「歩道橋」、「アリーナ」、「アトリウム」、「表現の舞台」、「ランチルーム」の各部屋について、愛称を設けることとしました。
- 愛称の決め方については、児童生徒が主体となって考え、新設校に親しみを持つもらうために開校後に新設校の児童生徒から公募で決定することとしました。

新設校における施設開放について（第7回）

- 新設校の地域連携室における活用方法の参考とするため、他校における地域連携室の活用事例や、社会教育課で行っている「おおいたふれあい学びの広場推進事業」の実施形態などについて説明を行いました。
- 地域連携室の具体的な活用方法については、学校支援部会で検討することが適当であるとの意見の集約をしたところですが、施設部会としては、これからも学校支援部会と連携して協議を進めていきたいと考えています。

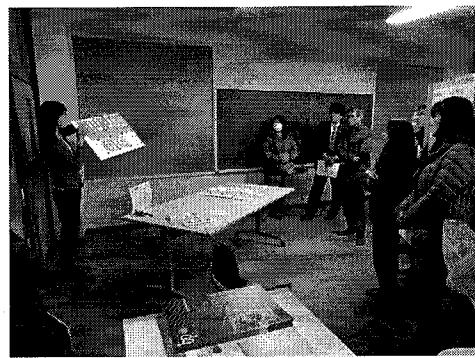
新設校に係る備品（家具）について（第8回）

- 「アトリウム」、「ランチルーム」、「オープンスペース」の各部屋について、より有効な活用が可能となる備品を専門業者から取り寄せ、委員の方々に体験してもらいました。
- また、「小学校・中学校の学習空間の変化と事例」と題して、先進地の説明を受けました。
- 委員からは、「備品の安全性や機能性を確認することでき、児童生徒が各部屋で実際に使用しているイメージが想像できた」など、良好な意見を多く頂きました。
- 備品は、下記のとおり展示をしていますので、気軽にご覧頂きたいと思います。

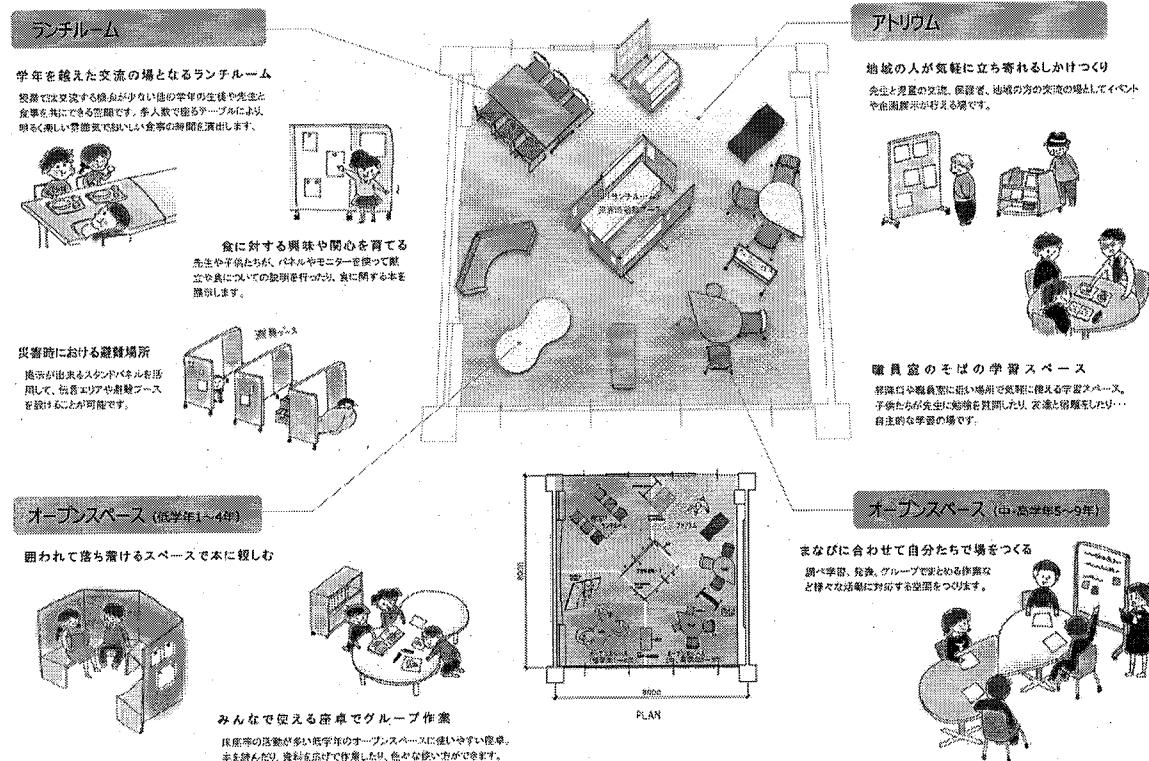
日時：平成28年2月26日（金）まで
 （土日・祝日を除く、午前10時から午後4時まで）

場所：荷揚町小学校1階児童会室

（備品展示体験の様子）



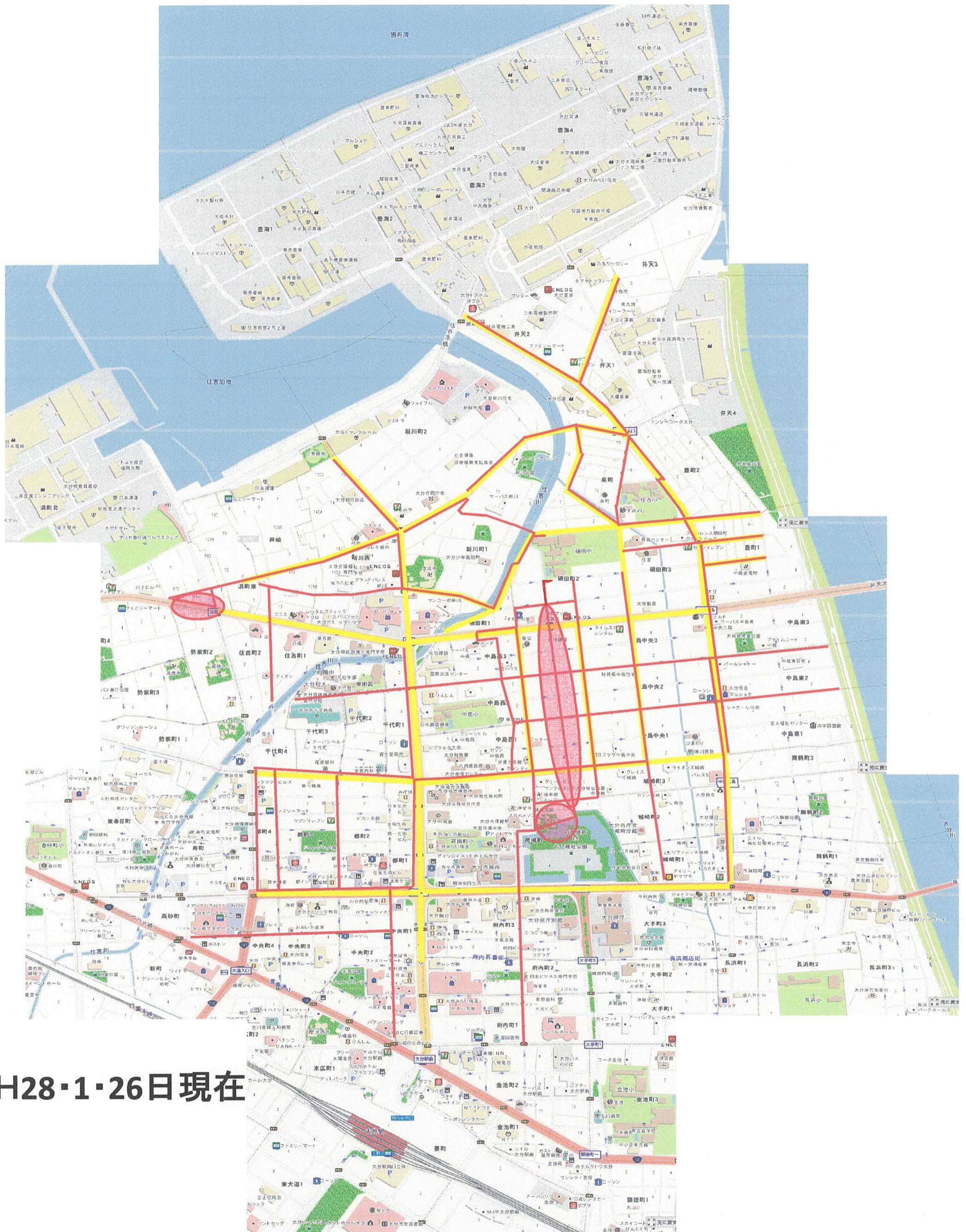
(備品展示レイアウト図)



<暫定版> 平成28年度 開校準備委員会・専門部会のスケジュール(案) H28.2.15現在

	開校準備委員会 (研修室302)	専門部会		
		学校部会(研修室202)	学校支援部会(研修室302)	施設部会(研修室201)
28年度				
4月		4/19 専門部会⑩	4/19 専門部会⑪	4/19 専門部会⑩
	5/10 第5回開校準備委員会 ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
5月		5/17 専門部会⑫	5/17 専門部会⑬	5/17 専門部会⑭
6月		6/28 専門部会⑮	6/28 専門部会⑯	6/28 専門部会⑰
7月		7/26 専門部会⑯	7/26 専門部会⑰	7/26 専門部会⑱
8月	8/16 第6回開校準備委員会 ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		8/23 専門部会⑲	8/23 専門部会⑳	8/23 専門部会㉑
9月		9/27 専門部会㉒	9/27 専門部会㉓	9/27 専門部会㉔
10月		10/25 専門部会㉕	10/25 専門部会㉖	10/25 専門部会㉗
11月	11/15 第7回開校準備委員会 ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
		11/22 専門部会㉘	11/22 専門部会㉙	11/22 専門部会㉚
12月		12/20 専門部会㉛	12/20 専門部会㉜	12/20 専門部会㉝
1月				
	1/24 第8回開校準備委員会 ←	委員会報告	委員会報告	委員会報告
2月				
3月				

* H28年度の関連日程が確定していないので、変更になる可能性があります。教育センターの会場予約も未実施です。



H28・1・26日現在